

きらやか産業賞に3社

きらやか銀行産業振興基金(理事長・川越浩司)は8日、2022年度きらやか産業賞にスズキハイテック(山形市、鈴木一徳社長)、志乃屋(天童市、押野成人社長)、四釜製作所(長井市、四釜雅之社長)を選んだと発表した。ベンチャービジネス奨励賞には笑子(尾花沢市、草刈健社長)を選出した。

ベンチャービジネス奨励賞 笑子(尾花沢)

きらやか産業賞は、技術や経営の革新、国際化などで優れた実績を上げている県内の中小企業や団体、個人を顕彰し、34回目。昨年度までに120社が選ばれている。副賞は100万円。

表面処理、メッキ加工のスズキハイテックは1914(大正3)年創業。産学官連携による技術開発で、自動車、半導体から医療・ヘルスケアまで幅広い分野で実績を上げている。外国

スズキハイテック(山形)

志乃屋(天童)

四釜製作所(長井)

研究、電気配線、塗装など多様な加工に対応し、一貫生産を武器に顧客ニーズに添えている。大手メーカーのOEM(相手先ブランド)による生産)も手掛ける。若者や女性の雇用にも積極的に取り組んでいる。

ベンチャービジネス奨励賞は、特に将来性があり、新技術・新製品などの研究開発を行う中小企業などを対象としており、27回目。昨年度までに受賞したのは75

社で、副賞は50万円。笑子は2016年創業。小規模工場や店舗など向けの節電機器「システム・ブレーカー」のレンタルなどを行っている。電気料金の上昇が社会問題となる中で市場性、全国への販売網を確立している成長性などが評価された。

両賞の贈呈式は3月13日、山形市の山形グランドホテルで行われる。(阿久津誠)

畜産技術優れた農家をたたえる

最上地域共励会表彰式

最上地域の畜産農家を対象にした2022年度肉用子牛出荷、牛枝肉、乳質改善の各共励会表彰式が8日、新庄市の県農業総合研究センター畜産研究所で行われ、生産技術に優れた上

位入賞者をたたえた。最上地域農業・畜産振興協議会(会長・山尾順紀新庄市長)が主催した。各共励会で高い評価を受けた同地域の和牛繁殖、肥育農家、酪農家を表彰した。入賞者は次の通り。

最上地域肉用子牛出荷共励



JA全農 山形 新本部



JA全農山形は8日、県本部長の佐々木英之氏(61)の退任に伴い、JA全農本所経営企画部専任部長の長谷川直秀氏(60)が3月1日付で新本部長に就任すると発表した。長谷川氏は白鷹町出身。1985(昭和60)年にJ

食のカコーポレーション(庄)発売

食品製造の食のカコーポレーション(新庄市、福原和輝社長)は、大豆由来の代替肉を使った冷凍食品

めており、大豆ミートのおいしさを広め、SDGs(持続可能な開発目標)について考える場にする計画だ。同社は新庄市内で「福原鮮魚店」を運営し、仕出しや飲食も提供する。畜産で

着目し、総菜などの販売に力を入れている。開発した冷凍食品は▽ハンバーグ▽キーマカレー▽ガパオ▽ポロネーズの4種類。県産大豆を材料とした大豆ミートを、新庄市の

- 含▽1部(10頭以上) ①金田 義徳(新庄市)②高山正靖(同)
- ③山科三夫(同)▽2部(6、9頭) ①大場啓一(最上町)
- ②盛岡和利(新庄市)③小田嶋 庄一(同)▽3部(3、5頭)
- ①鈴木克彦(新庄市)②梁瀬 晃(真室川町)③高橋俊逸(新庄市)
- ▽同牛枝肉共励会▽最優秀賞
- ワコム農業研究所(真室川町)▽優秀賞 菅嶋忍(最上町)
- ▽優良賞 加藤優志(金山町)
- ▽同乳質改善共励会▽1部(20頭以上) ①岸田哲夫(新庄市)②保角義文(同)③平賀健一(舟形町)▽2部(20頭未満)
- ①鈴木藤雄(新庄市)②浅野 目功(同)③郷野孝(最上町)
- (佐々木亨)

表彰状を手にする上位入賞者